

卒業研究展

このたび、愛媛大学教育学部卒業研究展を開催します。

本展覧会では、愛媛大学教育学部の美術を専攻する卒業予定学生(学校教育教員養成課程中等教育コース美術教育専攻3人、学校教育教員養成課程初等教育コース小学校サブコース15人、芸術文化課程造形芸術コース1人の計19人)が4年間の集大成として制作に取り組み、木工、工芸、彫刻、絵画の分野で制作した作品及び、美術教育・美術史の研究成果を発表、展示いたします。制作には1年をかけ各々の課題を追求、研究しました。

美術を専攻する学生たちの作品をぜひご覧ください。

展覧会概要

- **期間** 令和3年2月7日(日)～2月16日(火)
※会期中無休
※入場無料
- **会場** ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)
〒799-2651 愛媛県松山市堀江町 1165-1
TEL 089-978-6838
駐車場有
- **開催時間** 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時45分まで)
- **展覧会に関するお問い合わせ**
教育学部4年生 濱本
e-mail 2021sotsugyokenkyu@gmail.com



暗いニュースが多い昨今ですが、明るく優しい色使いで、こちらに背を向けている人物を描くことで未来に進んでいく様子を表現しました。研究や制作に必要な道具を髪飾りや衣服として身にまとっています。是非探してみてください。

〈愛媛大学教育学部学校教育教員養成課程とは〉

本課程では、得意分野の形成に向けて各教科の専門科目及び教科指導法をそれぞれ重点的に履修し、小学校教員免許及び中学校教員免許の取得を目指します。また、カリキュラムには、初年次から各種の実習と多段階の「省察」の機会が組み込まれ、「振り返り」を媒介として理論と実践の有機的統合を図り、教員としての実践的指導力と豊かな人間性を培う工夫がなされています。特に、中等教育コース美術教育専攻では、美術の教科指導に伴う専門的知識や、実践的能力を身に付け、豊かな感性と柔軟な発想を持つ児童生徒を理解し、表現の意義や喜びを児童生徒と共有できる教員になることを目指します。

〈愛媛大学教育学部芸術文化課程造形芸術コースとは〉

急速に変化する今日の社会では、創造的で活力ある人材が求められています。とりわけ造形芸術における「ものづくり」の体験は、生活に潤いと充実を求める現代社会において、ますます重要な意義を持っています。本コースは、このような社会状況の変化と地域社会の要請に積極的に対応しながら、造形芸術に関する豊富な知識と高度な技術を備え、多様な芸術文化活動の推進者・支持者となりうる専門性の高い人材の育成を目指します。